

東大・駒場リサーチキャンパス訪問

平成21年7月18日(土)に、PTA企画部(部長:28R 田中 幸子)の企画・運営により「東京大学・駒場II リサーチキャンパス訪問」が行われ、保護者96名、生徒30名、合計126名が参加しました。

真夏の午後1時30分に、東京大学・生産技術研究所のコンベンションホールに集合後、キャンパス見学会に先立って講演会が行われました。東大教授の 野城 智也 所長(日比谷高校PTA)が歓迎のご挨拶を述べられ、「東大と駒場リサーチキャンパスの概要」についてご説明されました。つづいて、日比谷高校卒業生の大島 まり 教授から、「高校生の理科教育と科学技術リテラシー」についてのご講話をいただきました。教育的・学術的な話題にとどまらず、大島教授の高校時代の青春の思い出や数々の体験談、さらには女性研究者としての苦労話などに対し、参加者全員が熱心に先生のお話に聴き入っていました。日比谷高校の大先輩から、他所では聴くことができない貴重なお話を沢山聴くことができ、皆とても喜んでいました。

さらに、腰原 幹雄 准教授(日比谷高校卒業生)による、「組み木でつくった家」に関する研究の説明が行われました。また、岡野 達雄 教授と須田 義大 教授も会場にお越しいただき、簡単な自己紹介とともに日比谷高校卒業生としてのお話や研究紹介をしていただきました。

講演会の後は、保護者は、企画部の部員によるガイドのもと、グループに分かれてキャンパス訪問を行いました。研究所がある駒場IIリサーチキャンパスだけでなく、教養部のキャンパスへも足を伸ばし、大学のキャンパスを散策しました。

参加した生徒に対しては、研究所内部の研究施設の見学会を行い、岡野研究室(真空工学)、須田研究室(制御動力学、ドライブシミュレータ)、大島研究室(流体シミュレーション)、腰原研究室(ほのぼの木質工学)、岡部研究室(レアメタル)、所長室を順次訪問しました。日比谷高校関係者である研究者が自ら熱心に研究の説明を行ったため、日本が誇る最先端の学術研究の現場を直に体感できる絶好の機会でした。

今回のキャンパス訪問は、企画部の部員24名が一丸となって入念な準備が進められ、大きなトラブルもなく終わりました。東大の最先端の研究所の見学や施設訪問は、通常、高校のPTAの行事としては実現しにくいものですが、日比谷高校の卒業生や関係者の絶大な支援のもとに開催されたため、盛り沢山のとても充実した企画となりました。

(企画部・書記、15R 岡部 徹)

出典:

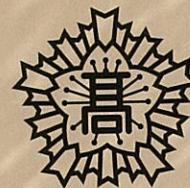
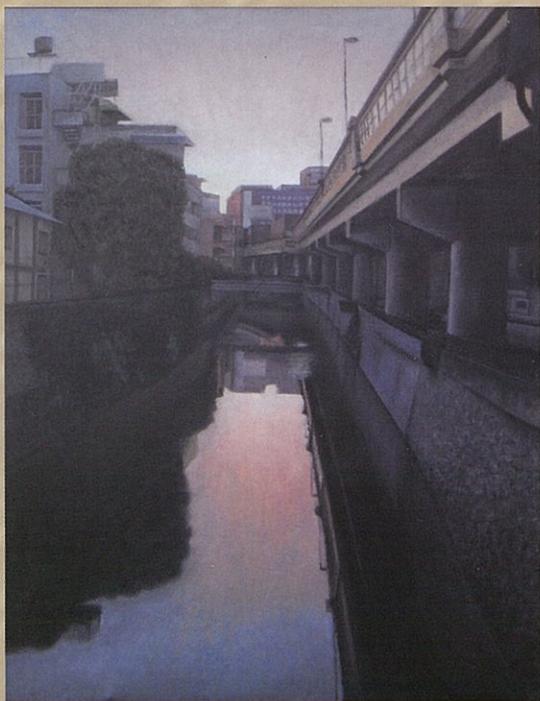
'東京大学 駒場II リサーチキャンパス訪問'

岡部 徹:

都立日比谷高校PTA会報 151号(平成21年11月発行)(2009.11) p.61.

会報

第151号



東京都立日比谷高等学校 P T A

PTAの催しから

教養部 勝山寮バス見学会 6月6日



企画部 駒場IIリサーチキャンパス訪問 7月18日



会報 一五二号 目次

特集	校長インタビュー	2
校務だより	18
教科だより	10
SSHハワイ島研修	28
合唱祭	36
星陵祭	44
勝山臨海合宿	54
夏山キャンプ	56
PTAだより	58
教養部	勝山寮見学会	
企画部	キャンパス訪問	
HOT NEWS・顧問より	62
編集後記	64

東京大学駒場Ⅱリサーチキャンパス訪問

目的地	東京大学駒場Ⅱリサーチキャンパス
日時	平成21年7月18日(土)
参加者	126名(うち生徒30名)
主な行程	コンベンションホールにて講演会、その後、駒場Ⅱリサーチキャンパス及び駒場教養部キャンパスを散策

お世話になった卒業生の方々



写真右から
大島まり 教授
腰原幹雄 准教授
岡野達雄 教授
須田義大 教授

生徒が参加した研究施設見学会



駒場Ⅱ

リサーチキャンパス訪問

平成21年7月18日(土)に、PTA企画部の企画・運営により「東京大学・駒場Ⅱリサーチキャンパス訪問」が行われ、保護者96名、生徒30名、合計126名が参加しました。

真夏日の午後1時30分に、東京大学・生産技術研究所のコンベンションホールに集合後、キャンパス見学会に先立って講演会が行われました。東大教授の野城智也所長(日比谷高校PTA)が歓迎のご挨拶を述べられ、「東大と駒場リサーチキャンパスの概要」についてご説明されました。つづいて、大島まり教授(S55卒)から、「高校生の理科教育と科学技術リテラシー」についてのご講話をいただきました。教育的・学術的な話題にとどまらず、大島教授の高校時代の青春の思い出や数々の体験談、さらには女性研究者としての苦労話などに対し、参加者全員

が熱心に先生のお話に聴き入っていました。日比谷高校の大先輩から、他所では聴くことができない貴重なお話を沢山聴くことができ、皆とても喜んでいました。

さらに、腰原幹雄准教授(S62卒)による、「組み木でつくった家」に関する研究の説明が行われました。また、岡野達雄教授(S41卒)と須田義大教授(S53卒)も会場にお越しいただき、簡単な自己紹介とともに日比谷高校卒業生としてのお話や研究紹介をしていただきました。

講演会の後は、保護者は、企画部の部員によるガイドのもと、グループに分かれてキャンパス訪問を行いました。研究所がある駒場Ⅱリサーチキャンパスだけでなく、教養部のキャンパスへも足を伸ばし、大



腰原研究室のベランダに同居の親鳥の心なごむ風景でした。

学のキャンパスを散策しました。参加した生徒に対しては、研究所内の研究施設の見学会を行い、岡野研究室(真空工学)、須田研究室(制御動力学、ドライブシミュレータ)、大島研究室(流体シミュレーション)、腰原研究室(ほのぼの木質工学)、岡部研究室(レアメタル)、所長室を順次訪問しました。日比谷高校関係者である研究者が自ら熱心に研究の説明を行ったため、日本が誇る最先端の学術研究の現場を直に体験できる絶好の機会でした。

今回のキャンパス訪問は、企画部の部員24名が丸となって入念な準備が進められ、大きなトラブルもなく終りました。東大の最先端の研究所の見学や施設訪問は、通常、高校のPTAの行事としては実現しにくいものですが、日比谷高校の卒業生や関係者の絶大な支援のもとに開催されたため、盛り沢山のとても充実した企画となりました。

(企画部 15R 岡部 徹)